



2022年 9月 1日発行 会報第1114号

今週のプログラム

(2022年9月1日 第1114回例会)

《ZOOM例会》

卓話：地区国際・社会奉仕委員会より

担当：地区国際・社会奉仕委員長

高木 大介様

次週のプログラム

(2022年9月8日 第1115回例会)

『月見例会』

担当：藤田 芳浩親睦委員長

第1113回例会 (2022年 8月 25日) の記録

「会長の時間」

山田 克子 会長

本日は地区財団委員会の資金推進委員会委員長で大阪西ロータリークラブの明石晃様にお越し頂いています。ようこそ明石様、ZOOM 例会に御越し頂きありがとうございます。本来なら実例会でお目にかかりご挨拶したかったのですが、画面越しのご挨拶になりますことお許してください。のちほど財団寄付についてなどの卓話をお願い致します。

明石様が入会されている大阪西ロータリークラブ様は、1957年6月4日に創立され、すでに65周年を迎えられた歴史のあるクラブです。大阪では4番目に創立されたクラブです。台北の高雄西 RC 様とは姉妹クラブでもあり平成6年に台北で国際大会が開催された時には、姉妹クラブとして国際親善に務められ貢献されました。また、今まで節目の創立記念の時には災害用テントなど様々な寄贈をされてきておられます。近年の創立60周年記念には大阪市立鶴見商業高等学校にAEDを寄贈されてもいます。千里メイプル RC もまもなく25周年を迎えます。個人的な思いですが記念例会で会食するだけでなく、地域や今までの奉仕活動をしているラオスや麻薬撲滅運動、子供食堂を含め、創立記念の時に小さなさやかな事であっても何か形にすることも考えたいと感じさせて頂きました。

先週の土日に、年に一度1000人以上のインディアン artist たちが全米各地からニューメキシコ州 Santa Fe という町に集まり、アメリカ最大のネイティブアメリカンクラフトショーが開催されました。世界各国から著名人も来日し20万人以上のお客様やバイヤーが購入や買い付けをするクラフトビジネスショーです。インディアンの人々との出会いの場ともなりますので私は20年以上行き続けてまいりました。コロナで今回は渡米を断念致しましたが、先週から時差の関係で毎日夜中にたくさんの友人のインディアン達からひっきりなしに電話がきました。「今どこにいる？家にいつ泊まるんだ？」「体調は悪くなっていないか？困ったことはないか？」「アジア人である事で止められたら直ぐに迎えに行くから連絡しておいで」「マスクはしない方がいい、かえって体調が悪い、コロナに感染していると思われるから」など私がアメリカに入国していると思って、喜びや心配の連絡が相次ぎ寝不足になりました。コロナのマスクに対する現在の考え方は、日本とアメリカではだいぶ違うようです。

日本ではロータリーはコロナとどう向き合えばよいのか益々わからなくなりました。以上です。

<本日のビジター> RI 第 2660 地区ロータリー財団 資金推進小委員会
委員長 明石 晃様 (大阪西 RC)

<出席報告>

会員数 (内免除会員 1 名)	19 名
本日の会員数	11 名
(内出席免除会員 1 名)	
(内名誉会員 0 名)	
本日の ZOOM 出席率	57.89%
8 月の ZOOM 平均出席率	56.14%

<ロータリーソング>

全会員



少年時代
夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれに さまよう
青空に残された私の心は夏模様
夢が覚め 夜の中
永い冬が 窓を閉じて
呼びかけたままで
夢はつまり 想い出のあとさき
夏まつり 宵かがり
胸のたかなりに あわせて
八月は夢花火 私の心は夏模様

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 「第 20 回記念ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届きました。

日時：2022 年 11 月 5 日 (土)

会場：東京・市ヶ谷の日本棋院本院 1 階対局室

主催：ロータリー囲碁同好会 共催：第 2580 地区・2750 地区 ホストクラブ：東京 RC

参加料：7000 円 申し込み締切り：10 月 28 日(所属 RC を通じてお申し込み下さい)

2. 地区ガバナーより危機管理関連資料が届きました。

安心・安全なクラブ運営を心がけると共に、青少年プログラム参加者に対して
健全なクラブ環境を維持・推進するようお願いです。

<8 月 25 日臨時理事会議事録>

山本 友亮 幹事

① 9 月 1 日例会もコロナ状況を考慮して引き続き ZOOM 例会と致します。

例会プログラムでは地区国際奉仕・社会奉仕委員会に卓話をお願いしておりますが
ZOOM でもお話しいただけるか、早急に確認を取る事といたします。

また、9 月 7 日 (木) に予定されているお月見例会につきましては

9 月 1 日例会終了後開催の理事会にて審議致します。



地区ロータリー財団 資金推進小委員会委員長 明石 晃様

<卓話>

【ロータリー財団寄付について】

地区ロータリー財団 資金推進小委員会 明石 晃委員長

皆様、こんにちは。

地区ロータリー財団資金推進小委員会の委員長を拝命しております、大阪西 RC の明石晃と申します。本日は、「ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？」というテーマでお話させていただきますが、最初に事前に頂きました3つのご質問を本日ご参加の皆様と共有させて頂こうと思います。

(ご質問1の要約)

会員一人あたり 30ドルと設定することで、積み増しされる金額が大きくなりますが、この金額は、誰のための、また誰が喜ぶお金ですか。

(ご質問2の要約)

恒久基金は年次基金と異なり、地区に3年後に還流することは無い、と認識していますが、そんな無目的な基金を募る必要がどこにあるのでしょうか。

(ご質問3の要約)

寄付の新設の場合はガバナーからの事前説明やアンケートがあってもよいのでしょうか。以上となります。

それでは、上記のご質問を踏まえて下記の項目のご説明をさせていただきます。

1. ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？
2. 財団寄付の種類について
3. 恒久基金に関する誤解！
4. 地区目標について
5. 財団寄付の認証について(個人・クラブ)

1. ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？

財団に寄付して頂いた金額のうち半分弱が 2660 地区に還元されます。その還元された財団寄附金は各クラブからの申請に基づき地区補助金として交付され、皆様の奉仕活動の財源として活用されています。

財団への寄付金の一部は、皆様の奉仕活動に充てられるという点がポイントとなります。

財団への寄付金は奉仕活動の財源となり、皆様の奉仕活動を支えている資金となりますので財団へのご寄付をお願いしております。

2. 財団寄付の種類について

年次基金(普通寄付と特別寄付)、ポリオプラス、恒久基金、ロータリー災害救援基金などがあります。年次基金寄付と恒久基金寄付は、目的が異なる寄付となります。

「年次基金寄付」は、今日の人びとへの支援に生かされる寄付となります。「恒久基金寄付」は、後世のロータリアンが末永く奉仕活動を継続していけるように創設された寄付で、恒久基金への寄付は「永久に」生かされることとなります。

恒久基金寄付の使用可能な収益の50%が 2660 地区に還元されます。この収益の大本となる元本は、既にお亡くなりになられた我々の先輩方が行った恒久基金寄付から生じた収益も含まれています。後世のロータリアンの奉仕活動に生かされているという点が、「年次基金寄付」と異なる点となります。

3. 恒久基金に関する誤解！

ベネファクターの認証は、恒久基金への寄付合計が\$1,000 に達した段階で認証されます。永年の慣習から各クラブ会長が就任年度に一括して1,000ドル行うケースが多いのではないかと思います。また、会長以外の会員の方々は恒久基金という基金自体を存じ上げない方も多いのではないかと思います。

「恒久基金」は、後世のロータリアンの奉仕活動の為の基金ですから、本来は2660地区の会員全員にご協力頂きたいというのが根底にあるかと思われまますので、これまでの地区目標の文言を変更させて頂きました。ただ、これは新しく設定したという意図ではなく、「恒久基金寄付」の本来の姿に戻した設定と認識しておりますので、ご理解頂ければ幸甚に存じます。

4. 地区目標について

年次基金(普通寄付と特別寄付)については一人当たり150ドル以上、ポリオプラスについては一人当たり50ドル以上はこれまでと変わらない目標ですが、恒久基金寄付については、本来の趣旨に戻す為に、一人当たり30ドル以上とさせて頂きました。

5. 財団寄付の認証について(個人・クラブ)

今回はPHS(ポールハリスソサエティ)のご紹介をさせて頂きます。毎年1,000ドル以上をご寄付頂くという認証ですが、ポールハリスフェローとは異なります。また毎年ご寄付頂く金額が、税効果を考えますと実は1,000ドルでのご負担ではありません是非ご検討頂ければと思います。

本日は、「ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？」というテーマでお話させて頂きました。今回のお話が皆様の財団寄付へのご関心を深めることが出来たら幸甚に存じます。

本日はありがとうございました。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。



2022-23 RID2660
地区ロータリー財団セミナー

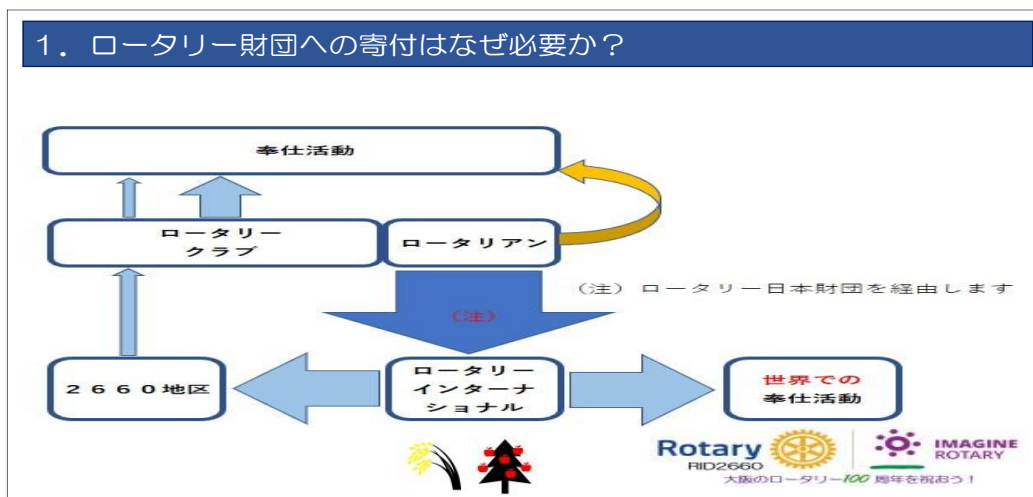
ロータリー財団への寄付は
なぜ必要か？

地区ロータリー財団資金推進小委員会
PHSコーディネーター
委員長 明石晃/大阪西FC

自己紹介

1. 所属 大阪西ロータリークラブ
2. 入会年月 平成29年3月6日
3. 地区出向年月 令和1年7月
(令和3年7月より 資金推進小委員会 委員長拝命)
4. 職業 税理士
5. 心がけていること 一日一食(たまに二食)





2. 財団寄付の種類について

寄付	概要
年次基金寄付	3年間運用された後、国際財団活動資金と地区財団活動資金に 分割され 、クラブが実施する地元や海外における奉仕活動を支える主な資金源です
ポリオプラス基金寄付	全ての子供にポリオ予防接種を行うために生かされ、ビル&メリング・ゲイツ財団から2倍の上乗せの対象となります
恒久基金寄付	基金は投資され元本は支出されることはなく、利用可能な 収益 の一部が財団プログラムを恒久的に支えます
ロータリー災害救援基金	クラブや地区による災害救援活動や復興活動に生かされます



2. 財団寄付の種類について

年次基金寄付とポリオプラス基金寄付のイメージ図



2. 財団寄付の種類について

恒久基金寄付のイメージ図



2. 財団寄付の種類について

目的の違い

1. 年次基金寄付

⇒**今日の人びと**への支援に生かされる寄付

2. 恒久基金寄付

⇒**後世**のロータリアンが永く奉仕活動を継続していけるように創設された寄付で、恒久基金への寄付は「永久に」生かされます。



3. 恒久基金に関する誤解！

- これまでの地区目標の文言
⇒「各クラブベネファクターを1会員以上」
- 現状
⇒各クラブの会長が就任年度に1,000ドル一括で行うもの
- 上記の結果
⇒各クラブの会長経験者以外の方は、恒久基金という存在を知らない・・・
⇒ご寄付頂いた会長も習慣で行ったので内容が分からない・・・
- 問題点
⇒**このままの状態**でいいのでしょうか？



5. 財団寄付の認証について（個人の認証）

ポール・ハリス・フェロー / マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



PHF	\$1,000~	認証状と襟ピン
PHF +1	\$2,000~	襟ピン（サファイア 1 粒）
PHF +2	\$3,000~	襟ピン（サファイア 2 粒）
PHF +3	\$4,000~	襟ピン（サファイア 3 粒）
PHF +4	\$5,000~	襟ピン（サファイア 4 粒）
PHF +5	\$6,000~	襟ピン（サファイア 5 粒）
PHF +6	\$7,000~	襟ピン（ルビー 1 粒）
PHF +7	\$8,000~	襟ピン（ルビー 2 粒）
PHF +8	\$9,000~	襟ピン（ルビー 3 粒）

5. 財団寄付の認証について（個人の認証）

メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ

ご寄付の分類にかかわらず累計額が1 万ドル以上でメジャードナー、25 万ドル以上でアーチ・クランフ・ソサエティの認証が個人またはご夫妻に対して贈られます。

MD レベル 1	\$10,000~	クリスタルと襟ピン/ペンダント トップ
MD レベル 2	\$25,000~	
MD レベル 3	\$50,000~	
MD レベル 4	\$100,000~	
アーチ・クランフ・ソサエティ	\$250,000~	

6. 本日のまとめ 地区目標について

寄付の分類	目標
年次基金寄付	➡ 150ドル以上/会員一人あたり
ポリオプラス基金寄付	➡ 50ドル以上/会員一人あたり
恒久基金寄付	➡ 30ドル以上/会員一人あたり



ご清聴、有難うございました！

**皆様からの財団寄付が、
地域社会や世界での奉仕活動を支える
財源となります！**

**今後ともロータリー財団への御理解と御協力を
お願い致します！**